



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8059 URL <http://www.djk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長(兼)営業会計第一部長 (氏名) 岡田 秀樹 (TEL) (03)6370-8697
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	32,133	△14.8	674	△31.9	759	△32.4	292	△61.1
29年3月期第1四半期	37,711	27.1	989	91.6	1,122	69.4	750	63.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 704百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △25百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.49	5.46
29年3月期第1四半期	13.98	13.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	112,296	38,968	34.6
29年3月期	116,681	38,794	33.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 38,855百万円 29年3月期 38,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	9.00	—	45.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を考慮した金額を記載しております。また、平成30年3月期配当金合計額は単純計算ができませんので「—」としております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,000	33.9	2,300	△22.7	2,500	△20.6	1,500	△17.6	28.18
通期	177,000	14.8	4,700	△19.6	5,000	△18.9	3,100	△7.2	58.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※「1株当たり当期純利益」は、平成29年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を考慮しない金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	55,432,000株	29年3月期	55,432,000株
30年3月期1Q	2,195,483株	29年3月期	2,191,553株
30年3月期1Q	53,238,639株	29年3月期1Q	53,691,675株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 平成29年6月27日開催の第94期定時株主総会において、株式併合の効力発生日 (平成29年10月1日) をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更する定款変更を行う旨が承認可決されております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により企業業績や雇用・所得環境等に改善の傾向が見られ、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、一部の国・地域における地政学的リスクの顕在化、米国の政治・経済動向や英国のEU離脱問題、中国や新興国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備等の大口案件の売上が少なく、また錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が大幅に減少したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間と比べて55億77百万円減少の321億33百万円（前年同期比14.8%減）となりました。また、営業利益は3億15百万円減少の6億74百万円（前年同期比31.9%減）、経常利益は3億63百万円減少の7億59百万円（前年同期比32.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億58百万円減少の2億92百万円（前年同期比61.1%減）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

大手エンジニアリング会社経由の海外向け石油プラントやエチレンプラント用設備、また化学会社向け樹脂製造プラント用設備等の既受注大口案件の売上が少なく、売上高は49億19百万円減少の69億21百万円（前年同期比41.5%減）、セグメント損益（営業損益）は41百万円減少の12百万円の損失となりました。

産業機械事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、自動加工機、塗装ライン等の売上が増加し、また家電・自動車部品製造の射出成形機および周辺機器等の売上也増加したため、売上高は6億57百万円増加の95億41百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益（営業利益）は99百万円増加の2億14百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

エレクトロニクス事業

ITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機等の販売は微増したものの粗利率が減少したため、売上高は41百万円増加の139億42百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）は68百万円減少の5億27百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

ファーマ事業

錠剤外観検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が大幅に減少したため、売上高は9億96百万円減少の14億8百万円（前年同期比41.4%減）、セグメント利益（営業利益）は92百万円減少の36百万円（前年同期比71.4%減）となりました。

航空事業

航空機地上支援機材および空港施設関連機器等の需要が大幅に減少したため、売上高は3億32百万円減少の3億28百万円（前年同期比50.4%減）、セグメント損益（営業損益）は39百万円減少の3百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、43億85百万円減少の1,122億96百万円となりました。これは主に、商品及び製品や前渡金の増加があったものの、現金及び預金の減少や売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少があったことによるものであります。

負債合計は、45億60百万円減少の733億27百万円となりました。これは主に、前受金の増加があったものの、支払手形及び買掛金や借入金の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、1億74百万円増加の389億68百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、株価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益2億92百万円の計上があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、50億96百万円減少し、147億56百万円(前年同期比14百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前受金の増加や売上債権の減少があったものの、仕入債務の減少やたな卸資産の増加があったことなどにより、34億52百万円の減少(前年同期比15億81百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得支出があったものの、投資有価証券の売却収入があったことなどにより、2億50百万円の増加(前年同期比7億75百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いがあったことなどにより18億89百万円の減少(前年同期比1億14百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表した内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,026	14,900
受取手形及び売掛金	35,944	34,879
電子記録債権	2,304	2,300
商品及び製品	8,415	9,806
仕掛品	1,197	1,435
原材料及び貯蔵品	596	600
前渡金	27,105	28,193
繰延税金資産	572	363
その他	4,749	3,917
貸倒引当金	△204	△181
流動資産合計	100,708	96,216
固定資産		
有形固定資産	3,290	3,214
無形固定資産	1,934	1,869
投資その他の資産		
投資有価証券	8,644	8,893
退職給付に係る資産	1,026	1,024
その他	1,633	1,632
貸倒引当金	△555	△554
投資その他の資産合計	10,748	10,995
固定資産合計	15,973	16,079
資産合計	116,681	112,296
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,356	30,121
短期借入金	7,854	6,688
未払法人税等	1,305	175
前受金	29,083	30,993
引当金	1,198	790
その他	1,274	1,629
流動負債合計	75,072	70,398
固定負債		
長期借入金	1,387	1,271
繰延税金負債	656	860
引当金	17	13
退職給付に係る負債	305	322
その他	448	461
固定負債合計	2,814	2,928
負債合計	77,887	73,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,786	3,786
利益剰余金	28,473	28,232
自己株式	△985	△988
株主資本合計	36,378	36,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	2,290
繰延ヘッジ損益	1	16
為替換算調整勘定	536	442
退職給付に係る調整累計額	△33	△29
その他の包括利益累計額合計	2,306	2,719
新株予約権	99	105
非支配株主持分	9	8
純資産合計	38,794	38,968
負債純資産合計	116,681	112,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	37,711	32,133
売上原価	33,123	27,674
売上総利益	4,587	4,458
販売費及び一般管理費	3,598	3,784
営業利益	989	674
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	71	88
仕入割引	63	54
為替差益	16	—
持分法による投資利益	15	2
貸倒引当金戻入額	—	26
その他	5	16
営業外収益合計	177	198
営業外費用		
支払利息	15	14
売上割引	2	1
支払手数料	18	20
為替差損	—	74
その他	8	2
営業外費用合計	44	113
経常利益	1,122	759
特別利益		
固定資産売却益	1	0
関係会社株式売却益	—	239
その他	4	0
特別利益合計	5	239
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	59	367
その他	0	—
特別損失合計	60	370
税金等調整前四半期純利益	1,067	628
法人税、住民税及び事業税	341	140
法人税等調整額	△24	196
法人税等合計	316	337
四半期純利益	750	290
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	750	292

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	750	290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	488
繰延ヘッジ損益	10	14
為替換算調整勘定	△529	△85
退職給付に係る調整額	11	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△8
その他の包括利益合計	△776	413
四半期包括利益	△25	704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26	705
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,067	628
減価償却費	199	205
株式報酬費用	8	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△23
引当金の増減額(△は減少)	△340	△410
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	16
受取利息及び受取配当金	△76	△97
支払利息	17	14
持分法による投資損益(△は益)	△15	△2
投資有価証券評価損益(△は益)	59	367
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△239
固定資産除売却損益(△は益)	△1	2
売上債権の増減額(△は増加)	△6,970	1,035
前渡金の増減額(△は増加)	△10,169	△1,021
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,351	△1,649
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△879	829
仕入債務の増減額(△は減少)	8,132	△4,209
前受金の増減額(△は減少)	10,062	1,832
その他の流動負債の増減額(△は減少)	347	383
その他	△105	43
小計	△977	△2,286
利息及び配当金の受取額	91	115
利息の支払額	△20	△13
法人税等の支払額	△963	△1,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,870	△3,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△9	30
有形固定資産の取得による支出	△207	△45
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△159	△24
投資有価証券の取得による支出	△114	△8
投資有価証券の売却による収入	—	300
貸付けによる支出	△5	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△31	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△524	250

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,207	△1,232
長期借入金の返済による支出	△115	△115
自己株式の取得による支出	△1	△2
ストックオプションの行使による収入	40	—
配当金の支払額	△483	△533
その他	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,774	△1,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	△358	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,527	△5,096
現金及び現金同等物の期首残高	18,953	19,853
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	315	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,741	14,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,840	8,884	13,900	2,405	660	37,690	20	37,711	—	37,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	65	119	280	—	576	8	584	△584	—
計	11,952	8,949	14,019	2,685	660	38,267	28	38,296	△584	37,711
セグメント利益又は損失 (△)	28	115	596	128	36	905	△20	885	103	989

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額103百万円には、セグメント間取引消去66百万円、たな卸資産の調整額39百万円およびその他の調整額△1百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	プラント・ エネルギー 事業	産業機械 事業	エレクトロ ニクス 事業	ファーマ 事業	航空事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,921	9,541	13,942	1,408	328	32,141	△7	32,133	—	32,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	86	277	40	—	435	7	443	△443	—
計	6,951	9,628	14,219	1,449	328	32,577	△0	32,576	△443	32,133
セグメント利益又は損失 (△)	△12	214	527	36	△3	762	△40	722	△48	674

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去47百万円、たな卸資産の調整額△104百万円およびその他の調整額8百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。